

作品#3

俳優とヴァイオリニストと
ホルニストによる
インプロヴィゼーション

2024年

4月16日(火) 20時

4月21日(日) 14時

4月21日(日) 17時

於東京・三鷹「SCOOL」

岡本唯(俳優)

加藤綾子(ヴァイオリニスト)

近藤圭(ホルニスト・ゲスト出演)

I. 「輪」をさわる

II. 「輪」をしゃべる

III. 「輪」をつながる

IV. 「輪」をひく

V. 「輪」にたつ

アフター・トーク

みんな「輪」になる

どこから見ても、ヒトは作品になる。

〈作品〉は、俳優・岡本唯と
ヴァイオリニスト・加藤綾子によって始まった、
即興パフォーマンスのプロジェクトです。

「ヒトはどこから作品なのか？」
という問いから始まった本シリーズは、
3回目にしてゲスト・近藤圭を迎え、
「どこから見ても、ヒトは作品になる」
という視点を得ました。

舞台上立つ私たち。
クリエイションで出会う私たち。
家で過ごす私たち。誰かという私たち。
誰もいない私たち。
スマホの画面に切り抜かれる私たち。
スマホの画面からはみ出る私たち。
今日、会場に来たみなさん。
来られなかったみなさん。

あらゆる角度から、どこをどう見ても、
私たちは作品になる。
そこにはどんな優劣も存在しない。
あたかも、ひとつの輪のように。

あなたは、あなただけで、勝手に、
完全になめらかな「輪」であり続ける。

俳優：
岡本 唯（おかもと ゆい）

2012年ごろより小劇場を中心に俳優の活動をはじめ、「時々自動」のメンバーとなる。主宰の朝比奈尚行に師事し、楽器演奏や歌、漫談、ダンス、映像制作などに取り組む。

2022年からは「ぱぷりか」に俳優として所属。主に会話劇を中心とし、主宰の福名理穂とともに、人との繋がりの中で生まれる機微を丁寧に描き出す作品を目指している。

ガールズロックバンド「YKK」ではギターボーカルを担当。他にも加藤綾子との即興ユニット「てて」での創作や現代音楽のコンサートへの出演など、表現の垣根を超え幅広く活動している。アップスアカデミーにて一年次修了。



ヴァイオリニスト：
加藤 綾子（かとう あやこ）

洗足学園音楽大学および同大学院弦楽器コースを首席卒業（修了）。ベルギー・ナミュールの音楽院「IMEP」修士演奏家課程を、学年最高得点にて修了。

小田原文化財団、日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、高松市美術館などの主催公演に出演。クラシックや現代音楽、即興など幅広いシーンで活動しながら、リサイタルなどの自主公演を行う。2023年開催のソロ・リサイタル〈百鬼夜行〉では、演奏曲目のミュージック・ビデオをみずから演出・制作した。芸術団体〈インプロ・りぶる〉代表。信州を拠点に活動する、作曲家・渡辺裕紀子と松本真結子との音楽グループ〈やまびこラボ〉メンバー。福士恵子アンサンブルクラス専属ヴァイオリニスト。



INTERVIEWS

バーコードを読み込むと
〈作品 #3〉出演者の
インタビュー記事を
閲覧できます。
開演前にぜひご覧ください。

ホルニスト／ゲスト出演：
近藤 圭（こんどう けい）

1989年東京生まれ。現代曲のホルン演奏を中心に活動を展開している。

金沢青児ブリテン・カンテイクフル全曲演奏会、ゼミソン・ダリル木管五重奏演奏会、愛知県立芸術大学ドクトラルコンサート等、日本初演・世界初演の機会に招聘されるホルン奏者として、活動の場を広げている。

X (旧Twitter) 上では「天才思想家bot」のアカウント名で、ナチュラルホルンを含めたホルン特殊奏法の実践的研究の成果を、動画で日々投稿している。



背景写真：門田和峻

パンフレット作成：加藤綾子

主催：インプロ・りぶる (WEB <https://free-impro.jp>)